

# 『平成24年度豊かな体験活動推進事業』活動報告書

【豊かな体験活動推進事業 推進校】

## 『有意義な宿泊学習にしよう』in俵山

山口県<sup>ほうふ</sup>防府市立<sup>むこうしま</sup>向島小学校

### 学校の概要

#### ① 学校規模

- 学級数：6学級
- 生徒数：52人
- 教職員数：10人
- 活動の対象学年：4年生・9人  
5年生・14人

#### ② 体験活動の観点などからみた学校環境

- 山口県防府市の南端に位置しており、橋で本土とつながっている。古くから漁業の盛んな地域である。島の人口は約1500人で三世代の家庭も多いが、近年の人口流出に加え、少子高齢化が進んでいる。
- 地域との結び付きが強く、参観日や運動会の他に、アサリの間引き体験、立岩稲荷遠足、三世代のふれあい凧作りなど、様々な場面で交流を図っている。
- 自然に恵まれてはいるが、学校のきまり等もあり、山や海で活動的な遊びをすることがしにくい状況である。同学年は、保育園からほぼ同じメンバーで人間関係が固定化している。

#### ③ 連絡先

- 〒747-0831  
山口県防府市大字向島775番地
- 電話：0835-22-1796
- FAX：0835-22-4789
- ホームページ  
<http://www.c-able.ne.jp/~mukoues/>
- 電子メール mukous-e@c-able.ne.jp

### 体験活動の概要

#### ① 活動のねらい

- 初めて出会う人々とのふれあいを通して人と人とのつながりの温もりを感じ、望ましい人間関係を築く態度を身に付ける。
- 自然と触れ合う活動を通して自然に親しみ、大切にすることを育てる。
- 民家への宿泊では、生活する上での基本的なマナーを身に付け、自分にできる役割を積極的に果たすことで、自分の日常生活を見つめ直し改善する。

#### ② 活動内容と教育課程上の位置付け

- 入村式（遠足・集団宿泊的行事 1/3単位時間）
- 俵山オリエンテーリング【体験プログラム①】  
（集団宿泊的行事 3単位時間）
- そば打ち・パン作り体験【体験プログラム②】  
（集団宿泊的行事 3単位時間）
- 農業体験【体験プログラム③】  
（集団宿泊的行事 2単位時間）
- 子ども歌舞伎体験【体験プログラム④】  
（集団宿泊的行事 3単位時間）
- 河川プール、川遊び【体験プログラム⑤】  
（集団宿泊的行事 3単位時間）
- 山登り【体験プログラム⑥】  
（集団宿泊的行事 3単位時間）
- 退村式（集団宿泊的行事 2/3単位時間）
- 宿泊先  
山口県長門市俵山地区の旅館 1泊  
山口県長門市俵山地区の民家（7家庭）3泊
- 受入地域協議会  
俵山グリーンツーリズム推進協議会

## 1 活動に関する学校の全体計画

### ① 活動のねらい

- 初めて出会う人々とのふれあいを通して、人と人とのつながりの温もりを感じ、望ましい人間関係を築く態度を身に付ける。
- 自然と触れ合う活動を通して、自然に親しみ、大切にすることを育てる。
- 民家への宿泊では、生活する上での基本的なマナーを身に付け、自分にできる役割を積極的に果たすことで、自分の日常生活を見つめ直し改善する。

### ② 全体の指導計画

活動時期・期間	実施する体験活動の概要	教科・領域	単位時間
6月下旬 ～7月中旬	『有意義な宿泊学習にしよう』事前学習 ・体験活動の概要、ねらいの説明 ・グループ編成、グループの約束づくり ・活動のめあての設定(グループ、個人) ・俵山についての調べ学習 ・民泊、共同生活の心構え	総合的な 学習の時間	6単位時間
7月24日 ～7月27日	『有意義な宿泊学習にしよう』in 俵山 入村式 ①俵山オリエンテーリング ②そば打ち・パン作り体験 ③農業体験(野菜の植え付け) 対面式 ④子ども歌舞伎体験 ⑤河川プール、川遊び ⑥山登り 退村式	遠足・集団 宿泊的行事	18単位時間
9月上旬	『有意義な宿泊学習にしよう』事後学習 ・みんなの学習のよさを振り返ろう ・日常生活に生かしているか振り返ろう ・気づきをまとめよう ・体験学習で学んだことを伝えよう	総合的な 学習の時間	6単位時間

## 2 活動の実際

### (1) 事前指導

#### ① 班編成について

異学年の集団(4・5年生)であるので、5年生をリーダーとし、学年や男女のバランス等を考慮して班編成を行った。また、旅館泊班、民泊班、活動班というように複数の班を編成する必要があったので、様々なメンバーと多様なかかわりがもてるよう配慮した。

## ② めあての設定について

活動のねらいを受けて、3つの目的を9つの具体的な生活の心得を示した。

### 目的

- 友だちや地域の人とのふれあいの中で、自分から進んでかかわろう。
- 自然に親しみ、大切にしよう。
- 規則正しい生活をし、自分にできることに積極的に取り組もう。

### 生活の心得

- あいさつ・返事を、はっきりと気持ちよくする。
- 言葉づかいを、明るく、はきはきとする。
- 人の話は顔を向けて、しっかりと聞く。
- 見たり聞いたり考えたり、チャレンジする。
- 他人への迷惑になることはしない。
- 自分のことは自分でする。
- 進んでみんなのために体を動かす。
- 時間を大切にする。
- トイレ、洗面所、お風呂を清潔に使い、部屋はちらかささない。

さらに宿泊学習を通してのめあてや活動ごとの個人のめあてをしおりに記述させ、宿泊学習中に活動の進行に応じて、それぞれの達成度を振り返るようにした。

## ③ 不安の解消について

児童及び保護者にとって一番の不安は、3泊4日もの期間、家を離れて寝泊まりをするということであった。本校では、毎年4・5年生を対象に宿泊学習を行っているが、例年は1泊2日である。特に4年生は、初めての宿泊学習が3泊4日ということで、保護者も含め大きな不安を感じていたようである。

そこで、6月の日曜参観日に合わせて、保護者対象の説明会を開催し、受入先である「ゆうゆうグリーン俵山」の方から活動内容や安全対策等の説明をしていただいた。また、児童には事前指導で俵山の環境や活動の内容、生活の様子を丁寧に説明した。これらのことで、児童や保護者の不安はかなり解消された。



## (2) 活動の展開（プログラム）

7月24日（火）		7月25日（水）		7月26日（木）		7月27日（金）	
		6:00	起床 洗面・荷物の整理	6:00	起床	6:00	起床
		7:00	朝食（旅館）	7:00	朝食（民家）	7:00	朝食（民家）
		8:30	里山ステーションへ移動	8:30	里山ステーションへ移動	8:30	里山ステーションへ移動
		9:00	【体験プログラム②】 ・そば打ち体験 ・パン作り体験	9:00	【体験プログラム④】 ・子ども歌舞伎体験 （地元小学生と交流）	9:00	【体験プログラム⑥】 ・山登り
11:20	公民館集合						
11:30	出発式・公民館出発						
		12:00	昼食（里山ステーション）	12:00	昼食（里山ステーション）	12:00	昼食（里山ステーション）
		13:00	【体験プログラム③】 ・農業体験 （野菜の植え付け）	13:00	【体験プログラム⑤】 ・河川プール、川遊び	13:00	長靴洗い 振り返り・まとめ
13:30	俵山着・入村式					13:30	
14:00	【体験プログラム①】 俵山を知ろう オリエンテーリング					14:00	退村式
16:30	白猿の湯集合 集合写真	16:00	後片付け 里山ステーションへ	16:30	着替え	14:30	俵山出発
17:00	坂倉旅館へ移動 入浴（白猿の湯）	17:00	民泊先と対面式	17:00	民泊先へ移動	17:00	公民館到着 解散式
18:30	夕食（民家）	17:30	民泊先に移動	18:00	夕食（民家）		
		18:00	夕食（民家）	18:00	夕食（民家）		
		19:30	入浴（民家）	19:30	入浴（民家）		
20:30	1日の振り返り	20:30	1日の振り返り	20:30	1日の振り返り		
21:00	就寝準備	21:00	就寝準備	21:00	就寝準備		
21:30	就寝・消灯	21:30	就寝・消灯	21:30	就寝・消灯		

## (3) 事後指導

### ① お礼の手紙を書く

民泊先の家庭や俵山小学校、ゆうゆうグリーン俵山のスタッフの方へのお礼の手紙を書くことによって、宿泊学習でお世話になった方々とのつながりを再確認できるよう働きかけた。

### ② 振り返りを書く

宿泊学習を振り返って、「思い出に残った体験」、「思い出に残った人とのかかわり」、「宿泊学習を通して学んだこと」の3点について記述させた。また、「家に帰ってこれを続けようベスト3」ということで、自分のことのできるようになったことや家族のために行うお手伝いなどの中から、今後も継続していきたいことを2、3項目決めさせ、日常生活に生かせるように仕組んだ。

### ③ 体験したことを新聞にまとめる

宿泊学習で体験したことについて内容別にグループを作り、壁新聞を作成した。これによって、宿泊学習後しばらく経ってから体験を振り返り、学んだことや観じたことを想起させることができた。

### 3 体験活動の実施体制

#### (1) 学校や受入地域の支援体制

- ① 学校の体制・・・教頭、教諭2名（4、5年担任）、養護教諭 計4名
- ② 指導者・・・・・・ゆうゆうグリーン俵山（俵山グリーンツーリズム推進協議会）スタッフ  
長門市立俵山小学校職員 防府市立向島小学校教職員

#### (2) 配慮事項

- ① 事前の健康調査をもとに、児童一人ひとりの健康状況を受入地域担当者及び民泊先に伝えた。
- ② 現地下見や受入地域担当者との事前協議により、受入体制やプログラム、安全面の確認を詳細に行った。特に熱中症対策については細心の注意を払った。

### 4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

- ① 宿泊学習のしおりを活用し、活動ごとに自己評価をさせ、次の活動に生かしていくように指導した。
- ② 民泊先の家庭へのお礼の手紙や活動を振り返る作文から児童の成長をとらえた。
- ③ 事前と事後に児童の意識調査を実施し、その分析結果を事後の活動に生かすようにした。

### 5 活動の成果と課題

#### (1) 成果

##### ① 友だちや地域の人とのふれあいについて

3泊4日を通して、受入地域のスタッフ、民泊先の家族、俵山小学校の児童等多くの方との交流をもった。活動を通して、自分から話しかけるなど進んでかかわりをもとうとする姿が見られた。最終日に行った振り返りには、人とのかかわり方や家族の大切さに気付く児童が多かった。

○ 宿泊学習をしていろいろな人と会いました。人とのかかわり方がわかりました。それと家族の大切さもわかりました。（児童の感想より）

事後に保護者に応えてもらったアンケートによると、「どのような面で効果があったと思いますか」という問いに、「地域の人と触れ合えたこと」が78%と最も高い回答となり、「地域の伝統・文化と触れ合えたこと」も52%と高い評価が得られた。

##### ② 自然に親しむことについて

野菜の植え付け体験や河川・プール遊び、山登りと様々な自然体験活動を行った。特に野菜の植え付けでは、炎天下で暑さに耐えて作業に打ち込む様子にたくましさを感じた。また、急な斜面を這うようにして歩く山登りも初めて味わう貴重な体験になった児童が多かった。

保護者のアンケートを見ても、宿泊学習の効果として、「自然と触れ合えたこと」が56%と高かった。

##### ③ 規則正しい生活をし、自分にできることに積極的に取り組むことについて

宿泊学習中、「話す人の目を見て話を聞く」というルールが徹底されており、おかげで子どもたちは集中して人の話に耳を傾けるようになり、活動の切り替えも速くなるなどの変容が見られた。それぞれの体験活動前後の準備や後片付けも率先して取り組む様子が見られ、仕事に対する前向きな姿勢が感じられた。民泊先でも様々なお手伝いを行ったようである。中には、風呂焚きなど初めて経験する生活体験に感動する様子もうかがえた。

○ いろんなことを手伝うとみんなが「ありがとう」と言ってくれることを知りました。だから家でも手伝いをしたいです。（児童の感想より）

保護者のアンケートによると、「活動前と活動後で子どもさんに変化が見られますか」の問いに対して、61%が「大きく変わった」「少し変わった」と回答している。変化の内容については、以下のような回答があった。

- 自ら進んで手伝いをするようになった。
- 家事に興味をもつようになった。
- よい意味で親離れしていっているように感じる。今までは親の指示を待つてやっていたようなところがあったが、すべての行動において、自分で考えて取り組むようになった。人見知りもあまりしなくなった。
- 野菜作りに興味をもつようになり、トマトに水をやったり、祖母と畑に行ったりするようになった。
- 自分の意思をはっきりと自信をもって表現できるようになった。
- 身の回りのことを自分でやろうとするようになった。

## (2) 課題

- ① 今回のような体験活動を宿泊学習として継続していくことを考える際に、最も大きな問題となるのは予算面のことである。この度は、県や市の補助と受入地域担当者の配慮により、保護者への負担を6,000円に抑えることができた。しかし、実際には児童一人あたり20,000円近い費用が発生している。現状では、今後の宿泊学習でも同じような体験を児童に保障するのは困難である。
- ② 宿泊学習が夏休みに入ってすぐ行われたので、体験学習中に意識していためあて（あいさつ、時間、聞く態度、早寝早起きなど）が、その後の生活の中で実践するよう適切な指導ができなかった。保護者の意見の中には、「家に戻ってすぐは進んで手伝いをしていたが、しばらくすると面倒くさそうになった」という声があり、日常生活への応用の難しさが明らかになった。学校生活の中でも常に意識して行動できるように、様々な機会をとらえて振り返りをさせながら、継続的に指導をする必要がある。
- ③ 事前と事後に行った意識調査（6段階評価）によると、「だれとでも仲良くなる」という項目は4.82ポイントから5ポイントと0.18ポイント上がったが、残り7つの項目については全て下がった。特に「いやなことは、いやとはっきり言える」は4.82ポイントから4.61ポイントで0.21ポイント、「自分勝手な、わがままを言わない」は5ポイントから4.78ポイントで0.22ポイント下がっていた。中でも「早寝早起きである」は4.86ポイントから4.13ポイントで0.73ポイントと大きく下がっていた。体験活動後の夏休みの過ごし方も少なからず影響したと考えられる。